

# 人・街・ながた 震災資料室ニュース

直江津中学生・修学旅行

2007. 3. 17

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

## Soul Heart Love

命の大切さを知り、  
人々の温かさを知ろう

3月16日(金)、直江津中学校修学旅行生12名が「震災学習を通して、命の大切さを考える」をテーマに資料室を訪れました。平成16年の中越地震の時には小学5年生だったそうです。

震災当時の様子を伝えるパネルや説明を聞いた後、地震が起きてまず何をしたか、衣食住で困ったことは何か、再び起きたときはどうすればよいのか、自分たちが気をつけること、震災後の苦しい時期にうれしかったことはあったか、など多くの質問がでました。

家族の安否確認ができるように時間と場所に応じた連絡方法を日頃から話しておくこと、平常から人と人との繋がりを大切にしておくこと、避難所での物資配布のときにより困っている方へ譲り合う場もあったことなどを伝えました。

中越地震では、夕方であったが、火事はなく、次の日に余震の中、中断しながらも文化祭を行ったそうです。次の訪問先の神戸保育園は、JR新長田駅の北側数分の長田区水笠通3丁目にあり、周辺はやはり被害の大きかった地区です。神戸保育園でも、当時の様子や人と人とのつながりの大切さを、より一層感じてくれることでしょう。

寄贈いただきました ありがとうございます

『災害と資料 第1号 2007』

発行/新潟大学災害復興科学センターアーカイブズ分野

「被災地の記録資料の調査研究を通じ被災地域の文化復興の基礎資料作成、関東大震災(新潟県関係)・新潟地震等の震災関連記録資料の調査研究による震災記録資料の保存と活用を計る等」の目標に沿って調査研究活動された2006年度の成果がまとめられている。

### 主な行程と学習

#### 1日目(3月15日)

直江津駅出発→淡路市震災記念公園→ホテル着・震災講話(講師:古市忠夫氏)就寝

#### 2日目(3月16日)

インタビュー活動(神戸市長田区周辺:企業・官公庁・商店等訪問)→USJスタジオ見学→学習のまとめ→就寝

#### 3日目(3月17日)

学級別バス研修(大阪・京都・奈良)→直江津駅着・解散

インタビュー・スケジュール  
核心に迫る

3組 5班

徒歩 ——— 私鉄 ++++++ JR ———

| 時間 | インタビュー・スケジュール | 質問内容                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AM |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>突然、地震で何を考えましたか また、どうしようと思いましたが、</li> <li>地震が起きたらまず何をすべきか</li> <li>家族の安否確認の方法はどのようなものでしたか</li> <li>苦しいことがあった震災後の辛い思い出はありますか</li> <li>全てを失った時どう希望、なにかはありましたか</li> <li>地震や避難所の体験をどう話しているのでしょうか</li> </ul> |
|    |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住で一番困ったことは何ですか</li> <li>時間や生活のルールはありましたか</li> <li>避難所をかけた自己中心的なことはありましたか</li> <li>トイレはどうされましたか</li> <li>仮設住宅で一番ありがたかったのは何ですか</li> <li>避難所で一番大変だったことは何ですか</li> </ul>                                  |
|    |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地の中で一番驚いたのは何でしたか</li> <li>再建について聞かせてください</li> <li>中々驚いたのは何ですか</li> <li>被災地はどのような状況ですか</li> <li>今後、被災地をどうしていきたいですか</li> </ul>                                                                         |
|    |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか</li> <li>被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか</li> <li>被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか</li> </ul>                                                                                                      |

3組 6班

+++++ JR ———

質問内容

- 地震直後の行動や避難はどうしましたか
- 地震直後、最初にどう思いましたか
- 目の前の人や倒れている時、どう思いましたか
- 被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか
- 被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか
- 被災地を訪問して、学ばせたい問題点は何ですか

## 御 菅 東 地 区 の 現 状

4回の国政調査を比較して⑤

区画整理・再開発  
地区で人口回復率が  
最も低いのが御菅東  
地区である。昨年1  
月に発行された「復  
興へのあゆみ」(御  
菅3・4地区復興対  
策協議会発行)が届  
けられた。

「あゆみ」による

と御菅3・4地区は明治後期に神戸市へ編  
入し、マッチ工場が増えたがゴム産業に移  
りケミカル・金属・機械産業が盛んになり  
働く人たちが住むことにより市場や商店街  
が発展してきた。そして第2次世界大戦の  
空襲ではほとんど被害を受けず戦災復興土  
地区画整理事業の除外地となった。

震災当時の住宅地図と現在の地図を持っ  
て街を歩いて見ると大きな特徴が何点か挙  
げられる。

- 1)震災前はびっしりと並んだ棟続きの家(長屋)がそれぞれ1戸建になり玄関は公道(コミュニティ道路)に面して建てられ多くは2・3階建である。
- 2)新しく「みくらすいせん公園(1500㎡)」と「すがはらすいせん公園(1000㎡)」が生まれ四季が感じられる木々が植えられている(丁度、杏の蕾が開きだしていた)。
- 3)共同住宅は木造2階建のアパートが5棟と鉄筋4階建の工場兼アパート1棟があったが、みすがコーポ(6階建22戸、共同建替)と御菅第1住宅(4階建14戸、従前居住者賃貸住宅)に変わり銭湯が姿を消した。

### 御菅東(区画整理)

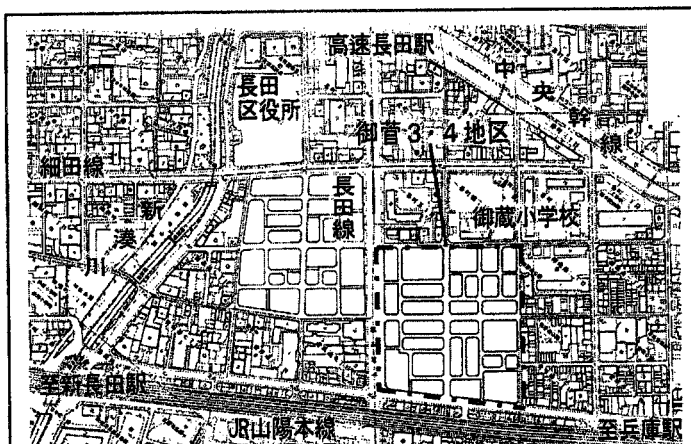
|       | 1990年度  | 1995年度 | 2000年度  | 2005年度  | 1995/1990 | 2000/1990 | 2005/1990 |
|-------|---------|--------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 御蔵3   | 396     | 96     | 113     | 145     | 24.24%    | 28.54%    | 36.62%    |
| 4     | 302     | 32     | 125     | 130     | 10.60%    | 41.39%    | 43.05%    |
| 菅原3   | 308     | 41     | 91      | 88      | 13.31%    | 29.55%    | 28.57%    |
| 4     | 362     | 142    | 95      | 158     | 39.23%    | 26.24%    | 43.65%    |
| 合計    | 1,368   | 311    | 424     | 521     | 22.73%    | 30.99%    | 38.08%    |
| 長田区合計 | 136,884 | 96,807 | 105,464 | 103,771 | 70.72%    | 77.05%    | 75.81%    |

4)すがはら市場はスーパー形式の味彩館として再出発した。

5)御蔵小学校プール、関西電力菅原変電所、S会社、市営住宅6号棟は以前のままだ。

6)最後に問題の空地である。震災前に駐車場だったのは10箇所だったが、現在はアスファルト舗装や整地された駐車場は53箇所(地図に駐車場と表示されているのは23箇所)で金網等で囲まれて利用されていないのは9ヵ所ある。

これらの特徴からみて元の1,368人に回復させるのは合理的でない。街の西側は国道28号、南側はJR山陽本線、北側は御蔵小学校に囲まれた良好な環境のもとでコンパクトタウンを形成するにはもう少しの人口増加が必要だろう。



御菅3・4地区の区域

震災パネル貸出中